



4月号表紙写真

第9回みやぎのふるさと農美里のんびりフォトコンテスト

宮城県知事賞

作品名：『山里の春』

撮影地：宮城県大崎市

Contents

- 🌱 令和3年度 第4回理事会、第6回監事会を開催しました
- 🌱 第63回通常総会を開催しました
- 🌱 令和4年度本会予算が決定しました
- 🌱 第9回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査発表！！

土地改良区めぐり

シリーズ 38 ～加美郡西部土地改良区

4月号目次

— NO.628 —

トピックス

- P 3 令和3年度 第4回理事会、第6回監事会を開催しました
- P 4 第63回通常総会を開催しました
- P 6 令和4年度本会予算が決定しました
- P 7 第64回全国水土里ネット通常総会が開催されました
- P 8 第63回全国水土里ネット表彰
- P 9 令和3年度 宮城県農業用ため池管理技術研修会を開催しました
- P 10 第9回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査発表！！
- P 12 令和3年度 農業水利施設機能保全計画書作成研修会を開催しました
- P 13 令和3年度 土地改良区総務課長・事務局長会議を開催しました
- P 14 令和3年度 宮城県土地改良事業団体連合会職員技術研修会が開催されました

土地改良区めぐり

- P 15 土地改良区めぐりシリーズ38 加美郡西部土地改良区

おしらせ

- P 16 土地改良団体における女性参画の推進について
- P 17 水難事故防止啓発用資料データの作成について
- P 18 宮城県ため池サポートセンターについて
- P 20 令和3年度 本会職員資格取得者
- P 20 本会会員代表者の就退任関係
- P 21 連合会日誌（1月～3月）
- P 21 今後の行事予定（4月～6月）
- P 22 人事異動

令和3年度 第4回理事会、第6回監事会を開催しました

令和3年度 第4回理事会

去る3月4日（金）午前10時30分から令和3年度第4回理事会を開催し、令和3年度一般会計収入支出補正予算の審議のほか、本会業務の適切な運営のための事務機構の見直し、勤怠管理システムの導入に伴う、簿冊・書面による申請から処務事務システムによる決裁への変更等について審議しました。

また、第63回通常総会提出議案等についても審議し、第1号議案から第6号議案まで、原案のとおり承認可決されました。

令和3年度第4回理事会で提出された議案は次のとおりです。



令和3年度 第4回理事会の様子

- 第1号議案 令和3年度一般会計収入支出補正予算の専決処分について
- 第2号議案 宮城県土地改良事業団体連合会〇〇支部細則の一部改正について
- 第3号議案 諸規程の一部改正等について
- 第4号議案 職員就業規則の一部改正について
- 第5号議案 第63回通常総会提出議案について
- 第6号議案 第63回通常総会の日時及び場所について

令和3年度 第6回監事会

去る3月4日（金）午前10時から令和3年度第6回監事会を開催し、令和3年度における受託事業の変更や補助事業の精査による補正予算とデジタル化推進に伴う土地改良法の一部改正による監事監査簿への押印削除について審議され、第1号議案から第2号議案まで、原案のとおり承認可決されました。

令和3年度第6回監事会で提出された議案は次のとおりです。



令和3年度 第6回監事会の様子

- 第1号議案 令和3年度一般会計収入支出補正予算の専決処分に係る承認について
- 第2号議案 宮城県土地改良事業団体連合会監査細則の一部変更について

第63回通常総会を開催しました ～令和4年度事業計画、収入支出予算等承認可決～

去る3月16日（水）午後1時30分より宮城県土地改良会館5階大会議室において、第63回通常総会を開催しました。昨年の第62回通常総会に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小し、出席会員30名とし、欠席する51名については、書面議決書で議決権を行使する形式となりました。



坂本修東北農政局長の挨拶



第63回通常総会の様子

伊藤康志会長は開会挨拶で「国内有数の食料供給基地である我が県においては、魅力ある産業として担い手に引き継いでいくために、農地の集積・集約、農地の大区画化・汎用化整備や、スマート農業の推進、将来を見越した適時適切な農業水利施設の維持・更新が必要であり、国民の生命と財産を守るためにも、ため池等の耐震化や、『流域治水』の田んぼダムなど、国土強靱化が重要な課題となっており、農業農村整備事業の継続的・安定的な発展を推進して行かなければなりません。今後も当初予算での事業予算確保を要請していく。」と挨拶を述べられました。

総会に先立って、令和元年度に発生した東日本台風により甚大な被害を受けた丸森町の農地・農業用施設災害復旧に係る調査・測量設計業務に多大なる協力をいただいた、宮城県測量設計業協会に対し感謝状を贈呈しました。

また、来賓の坂本修東北農政局長並びに村井嘉浩宮城県知事（代理：農政部副部長 金須豊洋氏）から祝辞をいただき、全国水土里ネット会長会議顧問進藤金日子参議院議員のビデオメッセージが披露されました。

議事では、北上川沿岸中田地区土地改良区の千葉武男理事長が議長に選任され、第1号議案から第12号議案までの12案件が上程され、審議の結果、全議案が承認可決されました。

総会決議について亀谷久雄副会長から案の朗読提案が行われ、採択決定とされ、最後に佐藤稔副会長が閉会の挨拶を述べ、総会の一切を終了しました。

第63回通常総会の提出議案は次のとおりです。

- | | |
|--------|-------------------------------------|
| 第1号議案 | 令和2年度事業報告の承認について |
| 第2号議案 | 令和2年度一般会計収入支出決算の承認について |
| 第3号議案 | 令和2年度財産目録の承認について |
| 第4号議案 | 令和3年度一般会計収入支出補正予算の理事会専決処分係る報告承認について |
| 第5号議案 | 宮城県土地改良事業団体連合会定款の一部変更について |
| 第6号議案 | 宮城県土地改良事業団体連合会規約の一部変更について |
| 第7号議案 | 宮城県土地改良事業団体連合会監査細則の一部変更について |
| 第8号議案 | 令和4年度事業計画について |
| 第9号議案 | 令和4年度一般会計収入支出予算について |
| 第10号議案 | 令和4年度役員報酬について |
| 第11号議案 | 令和4年度経費の賦課徴収方法について |
| 第12号議案 | 令和4年度取引先金融機関及び一時借入の方法について |

決 議

我が県の農村では、高齢化や人口減少が加速的に進行しており、農業従事者の高齢化・減少等により、農地・農業水利施設の管理が困難になるなど、様々な影響をもたらすことが危惧される。

農業を次世代の担い手にとって魅力ある産業としていくためには、農業の成長産業化に向け、農地の集積・集約、大区画化、汎用化等の農地整備や将来を見越した適時適切な農業水利施設等の維持・更新が必要となっている。

加えて、ため池を含む農業水利施設等の老朽化が進行する中、東日本大震災、令和元年東日本台風などに代表されるように、大規模地震や豪雨災害の頻発化・激甚化が懸念されており、国民の生命と財産を守るためにも、ため池等の耐震化や農地・農業用施設を活用した「流域治水」に取り組むなど、農村地域の防災・減災対策の推進を通じた国土の強靱化が重要な課題となっている。

さらに、猛威を振っている新型コロナウイルス感染症の影響を教訓にした、農村居住や農泊など都市と農村との交流促進としての農村の価値が改めて高く評価されてきている。

国内有数の食料供給基地である我が県においては、被災沿岸部と内陸部の均衡ある発展は重大かつ喫緊の課題であり、農業農村整備事業の計画的で安定的な推進が必要不可欠となっている。

また、改正土地改良法に伴い、今年4月からの複式簿記会計の導入など土地改良区の組織・運営に関する事項が改正されたことから、これに則って水土里ネットはしっかり対応しなければならない。

このような中、土地改良関係予算は、『闘う土地改良』の旗印の下、組織を挙げて様々な活動を行った結果、令和3年度補正予算と令和4年度当初予算を合わせ、6,300億円を確保することができた。しかし、当初予算の割合は七割程度に留まっており、計画的・安定的な事業実施に向けては、当初予算での予算確保を図るよう、引き続き強力に要請を行っていく必要がある。

我々水土里ネットは、国、県、市町村及び関係農業団体との連携を深めながら、国が示した農政の展開方向を踏まえ、活力ある農業・農村の実現と食料供給力の強化のため積極的に貢献していく覚悟である。

以上のことを踏まえ、ここに水土里ネット関係者が一致団結して下記事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

1. 農業競争力の強化を実現するため、高収益作物の導入や米の需給安定に係る麦・大豆等の生産拡大、農地集積・集約化を促す農地の大区画化・汎用化等の生産基盤整備をより一層推進すること。
2. 農村地域の国土強靱化のため、排水機場や防災重点農業用ため池など、農業水利施設の長寿命化及び豪雨・耐震化対策等を一層推進するとともに、田んぼダムなど流域治水の推進に向けた必要な支援措置を強化すること。
3. 気象変動による豪雨被害の頻発化・激甚化、農業構造や営農形態の変化等に適切に対応できるよう、農業水利施設の維持管理に関する支援を強化すること。また、大規模災害からの復旧・復興にあたっては、早急に対応するとともに、再度災害防止のための措置を講ずること。
4. 改正土地改良法で措置された新たな制度の定着と適正な運用のための支援を強化するとともに、土地改良区の運営基盤の強化に対する支援を推進すること。
5. 多面的機能支払制度の推進に当たっては、農地、水路、農道等の地域資源活動を推進するため、十分な予算の確保とともに、取組を一層発展させるため、水土里ネットが有する技術、経験など持てる能力を十分活用できる支援措置を強化すること。
6. 新型コロナウイルス感染症の発生に伴う新しいライフスタイルの変化に対応できるよう、都市と農村との交流拡大や農村定住促進など、農業農村の魅力を活かした農村振興施策を推進すること。
7. これら事業を計画的・安定的に推進するため、令和5年度当初予算では、新型コロナウイルス感染症対策予算の影響を受けることなく、現場のニーズに十分応えられる規模を確保すること。

令和4年3月16日

宮城県土地改良事業団体連合会
(水土里ネットみやぎ)
第63回 通常 総会

令和4年度本会予算が決定しました ～総額18億6千1百万円（対前年比76.9%）～

本会は、去る3月16日（水）開催の第63回通常総会に、令和4年度の一般会計収入支出予算案を上程し、原案のとおり承認可決されました。

予算は、当期収入合計、当期支出合計とも令和3年度対比で76.9%と減少しており、減少要因は、3款 受託事業収入及び支出の減額によるものとなっています。

令和4年度 収入支出予算総括表

収入の部

（単位：千円）

科 目	予算額	前年度 予算額	比較増△減	前年対比	付記
1. 一般管理収入	34,696	34,796	△ 100	99.7%	
2. 補助指導事業収入	10,882	20,521	△ 9,639	53.0	
3. 受託事業収入	930,100	1,491,100	△561,000	62.4	
4. 維持管理適正化事業収入	569,805	508,920	60,885	112.0	
5. 農道台帳管理事業収入	3,150	3,060	90	102.9	
6. 土地改良基金事業収入	53,610	53,590	20	100.0	
7. 農家負担金軽減対策事業収入	143,030	145,760	△ 2,730	98.1	
8. 水土里情報システム運営事業収入	7,500	7,500	0	100.0	
9. 基本財産運用収入	850	5,430	△ 4,580	15.7	
10. 特定資産運用収入	2,064	1,520	544	135.8	
11. その他の収入	33	33	0	100.0	
12. 特定資産取崩収入	105,260	148,750	△ 43,490	70.8	
13. 固定資産売却収入	10	10	0	100.0	
14. 出資金等戻り収入	10	10	0	100.0	
当期収入合計（A）	1,861,000	2,421,000	△560,000	76.9	
前期繰越収支差額	907,435	573,122	334,313	158.3	
収入合計（B）	2,768,435	2,994,122	△225,687	92.5	

支出の部

（単位：千円）

科 目	予算額	前年度 予算額	比較増△減	前年対比	付記
1. 一般管理支出	218,485	215,295	3,190	101.5%	
2. 補助指導事業支出	10,882	20,521	△ 9,639	53.0	
3. 受託事業支出	640,250	1,161,350	△521,100	55.1	
4. 維持管理適正化事業支出	569,805	508,920	60,885	112.0	
5. 農道台帳管理事業支出	3,150	3,060	90	102.9	
6. 土地改良基金事業支出	53,680	53,660	20	100.0	
7. 農家負担金軽減対策事業支出	143,030	145,760	△ 2,730	98.1	
8. 水土里情報システム運営事業支出	7,500	8,200	△ 700	91.5	
⑨. 基本財産取得支出	10	10	0	100.0	
⑩. 特定資産取得支出	66,518	90,534	△ 24,016	73.5	
⑪. その他の支出	116,670	182,670	△ 66,000	63.9	
12. 固定資産取得支出	1,010	1,010	0	100.0	
13. 出資金等支出	10	10	0	100.0	
14. 予備費	30,000	30,000	0	100.0	
当期支出合計（C）	1,861,000	2,421,000	△560,000	76.9	
当期収支差額（A）－（C）	0	0	0	－	
次期繰越収支差額（B）－（C）	907,435	573,122	334,313	158.3	

第64回全国水土里ネット通常総会が開催されました

去る3月24日（木）午後1時30分より東京都千代田区の全国都市会館において、全国土地改良区事業団体連合会第64回通常総会が開催されました。

昨年度と同様に今回の総会も、新型コロナウイルス感染症対策として、出席会員の人数を制限し、欠席する会員は委任状の提出等で議決権を行使し行われました。

議事では、第1号議案から第12号議案まで上程され、全議案承認可決されました。また、第13号議案で役員の補欠選任について上程され、理事1名が選出され承認されました。

最後に第14号議案として「決議」が採択決定となり総会の一切を終了しました。

なお、提出された議案及び新役員は次のとおりです。

第1号議案	全国土地改良事業団体連合会定款の一部改正について
第2号議案	全国土地改良事業団体連合会規約の一部改正について
第3号議案	令和2年度事業追加報告について
第4号議案	令和2年度収入支出決算について
第5号議案	令和3年度事業中間報告について
第6号議案	令和3年度一般会計収入支出補正予算について
第7号議案	令和4年度事業計画について
第8号議案	令和4年度一般会計収入支出予算について
第9号議案	令和4年度土地改良施設維持管理適正化事業防災減災機能等強化事業特別会計の設置及び収入支出予算について
第10号議案	令和4年度経費の賦課について
第11号議案	役員の報酬について
第12号議案	借入金について
第13号議案	役員の補欠選任について
第14号議案	全国土地改良事業団体連合会第64回通常総会決議について

新役員名簿（任期 2022年4月1日～2023年3月31日）

理 事	菊 地 博 （水土里ネット北海道会長）
-----	---------------------

第63回全国水土里ネット表彰

—令和3年度全国土地改良事業功績者表彰—

☆農村振興局長表彰☆

菅 原 勘 一 氏 （大崎土地改良区理事長）

☆全国土地改良事業団体連合会長表彰☆

千 葉 敏 彦 氏 （迫川沿岸土地改良区理事長）

—第63回全国土地改良功労者等表彰—

☆団体表彰の部☆

柴田郡村田町外一町澄川土地改良区

秋保町土地改良区



柴田郡村田町外一町澄川土地改良区



秋保町土地改良区

☆個人表彰の部☆

役員表彰

関 内 清 一 氏 （仙台市岩切土地改良区理事長）

長 浦 信 氏 （前 小山田川沿岸土地改良区理事長）

職員表彰

高 橋 善 宏 氏 （河南矢本土改良区総務課長兼事業課長）

千 田 喜 美 雄 氏 （登米市豊里町土地改良区工務課長）



関内 清一 氏



長浦 信 氏



高橋 善広 氏



千田 喜美雄 氏

令和3年度 宮城県農業用ため池管理技術研修会を開催しました

去る1月20日（木）から1月21日（金）の二日間にわたり、宮城県内の農業用ため池管理者を対象とした「令和3年度宮城県農業用ため池管理技術研修会」を仙台市、大崎市の2会場で開催しました。

本研修会は、農業用ため池管理者の技術力向上を目的としており、講師として国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の堀俊和氏、農林水産省中国四国農政局土地改良技術事務所の毛利俊博氏をお招きし、農業用ため池の日常管理や点検時におけるチェックポイント、被災したため池の応急対策事例の紹介、ため池管理アプリを使用した緊急点検報告の演習などを行いました。



研修会の様子（仙台会場）



研修会の様子（大崎会場）

研修会の日程・内容等は次のとおりです。

【研修会の日程及び会場】

日 程	会 場	参加人数
1月20日（木）	仙台会場（宮城県土地改良会館5階大会議室）	23名
1月21日（金）	大崎会場（大崎合同庁舎1階大会議室）	23名

【研修会の内容及び講師】

ため池の管理と点検について

1. ため池の基礎知識
2. ため池の日常管理
3. ため池の日常点検
4. ため池の緊急点検

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門
施設工学研究領域 施設整備グループ 堀 俊和 氏

ため池管理アプリの操作研修

1. ため池の現状
2. ため池防災支援システムを活用した緊急点検の実施（地震時、大雨時）
3. ため池管理アプリの概要
4. 【練習】ため池管理アプリを活用した緊急点検結果の報告
5. ため池管理システムのその他機能

農林水産省 中国四国農政局 土地改良技術事務所
建設技術課 ため池管理係 毛利 俊博 氏

第9回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査発表!!

去る2月14日（月）、本会館5階大会議室において、「第9回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト」の審査会を開催しました。

みやぎのふるさと農美里フォトコンテストは、宮城県内各地の農村の美しい景観、農村での伝統行事、農村での暮らしなどについて、県民の皆さまに興味と関心を抱いていただき、みやぎの農業・農村の魅力を広く紹介することを目的として開催しています。

第9回のみやぎのふるさと農美里フォトコンテストでは、作品応募者数66名から95点の応募をいただき、宮城県写真連盟会長を始め4人の審査員による厳正な審査を行った結果、以下のとおり各賞が決定しました。

なお、「第9回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト」の入賞作品については、水土里ネットみやぎホームページにも掲載しておりますので是非ご覧ください。

『第9回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト』入賞作品介绍ページ
http://www.mlw.or.jp/nonbiri_award/9109/



宮城県知事賞【山里の春】

撮影者：木村 文武 様

撮影地：大崎市



応募作品



審査会の様子

【第9回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査員】

- | | |
|----------------------|---------|
| ・宮城県写真連盟会長 | 永井 優 氏 |
| ・宮城県農政部長代理 | 金須 豊洋 氏 |
| ・宮城県中山間地域活性化推進協議会長代理 | 大友 聡 氏 |
| ・宮城県土地改良事業団体連合会長代理 | 浅野 直明 氏 |

 **みどり
水土里ネットみやぎ**
<http://www.mlw.or.jp>



宮城県中山間地域活性化推進協議会長賞

【暑い日の作業】

撮影者：石原 三雄 様
撮影地：角田市



水士里ネットみやぎ会長賞

【棚田の田植え】

撮影者：狩野 吉浩 様
撮影地：気仙沼市



学生優秀賞

【自然の美しさ】

撮影者：越阪部冬輝 様
撮影地：仙台市



女性優秀賞

【私のいきがい】

撮影者：穴戸 一恵 様
撮影地：名取市



ふるさと賞

【月明りの棚田】

撮影者：小檜山裕行 様
撮影地：丸森町



ふるさと賞

【レンコンに託して～「先を見通す」縁起物】

撮影者：清原 一彦 様
撮影地：栗原市



ふるさと賞

【桜咲く頃】

撮影者：工藤 るみ 様
撮影地：仙台市



入選【黄金色の散歩道】

撮影者：佐々木 均 様
撮影地：多賀城市



入選【うらかな春】

撮影者：高橋 達也 様
撮影地：松島町



入選【投げ入れで国際交流】

撮影者：渡邊 哲 様
撮影地：加美町



入選【春の息吹】

撮影者：行成 光春 様
撮影地：蔵王町



入選【桜と一緒に】

撮影者：菅原 力矢 様
撮影地：多賀城市

令和3年度 農業水利施設機能保全計画書作成研修会を開催しました ～機能保全計画書策定の技術習得～

去る1月24日（月）、1月26日（水）、1月31日（月）の3日間、会員市町村・土地改良区を対象とした「令和3年度農業水利施設機能保全計画書作成研修会を」を県内3会場で開催しました。

本研修会は、既設水利施設の有効利用と延命化を図る観点から、施設の機能診断に基づく機能保全計画を会員自らが策定することを目的としおり、講師として宮城県農政部農村整備課より布施技術主査をお招きし、本会からは、技術部の渡辺総括次長と中川副班長が講師として登壇しました。

講義では、布施技術主査より宮城県のストックマネジメント関係事業の実施方針について、渡辺総括次長より機能保全計画書の概要について、中川副班長より省エネルギー対策の手引きについてなど機能保全計画書作成についての講義を行い、サンプルを利用した機能保全コスト算定等の演習を行いました。

3会場で開催した研修会では、宮城県、市町村、土地改良区の担当者併せて77名にご参加いただき、研修会参加者からは、今後の機能保全計画書策定に役立てたいとの声も聞かれ、非常に参考になった様子でした。



研修会の様子

研修会の日程は次のとおりです。

【研修会の日程及び会場】

日 程	会 場	対象管内
1月24日（月）	仙台会場（宮城県土地改良会館5階大会議室）	大 河 原 ・ 仙 台 管 内
1月26日（水）	大崎会場（古川事業所大会議室）	北 部 管 内
1月31日（月）	大崎会場（古川事業所大会議室及びオンライン）	東 部 管 内

土地改良区総務課長・事務長等会議を開催しました

去る1月20日（木）鳴子観光ホテルにおいて、県内22土地改良区の参加のもと、土地改良区総務課長・事務長等会議を開催しました。

今回の会議では、近年の土地改良法の一部改正で措置された土地改良区の運営基盤強化に対する各土地改良区の実施状況や今抱えている課題などについて、本会の浅野専務理事が座長となり意見交換を行いました。また、近年の土地改良法改正の概要・令和4年度農業農村整備事業関係予算・土地改良団体における女性参画推進などについて本会の担当者から情報提供をさせていただきました。

意見交換では、各土地改良区から本会に対して意見要望がだされ、主に令和4年度より本格導入される複式簿記について、土地改良区役員等への理解向上に向けた役員研修会の開催や、会計担当者への指導支援などの要望がありました。また、労働基準等に関する研修会や、ストマネ等の技術的な研修会も開催してほしい意見などが多くありました。

コロナ禍等により、参加出来なかった土地改良区には、会議の概要について情報提供させていただきました。



会議の様子

令和3年度 宮城県土地改良事業団体連合会 職員技術研修会を開催しました

去る1月7日（金）、本会職員を対象とした「令和3年度宮城県土地改良事業団体連合会職員技術研修会」を本会館5階大会議室において開催しました。

本研修会は、頻発する地震や豪雨等で被災した市町村等に対し、本会が災害支援として提供する技術力の向上を目的としており、講師として、一般財団法人日本水土総合研究所の堀畑正純氏をお招きし、「熊本地震などを教訓とした大規模災害への備えについて」と題し、講演していただきました。

講演では、「東日本大震災を教訓とした農業農村整備の課題」、「熊本地震などを教訓とした大規模災害への備え」、「大規模災害時への備え（技術者確保と支援体制の強化）」、「大規模災害に備えた法制度の充実」の4つに分けて説明をしていただき、災害時における農業農村整備・農地復旧の課題、市町村等に対する支援のあり方等、大変有意義な研修会となりました。

令和4年度では本研修会の参集範囲を会員市町村・土地改良区に拡大し、ウェブ配信を含む研修会を開催する予定としております。



研修会の様子



講師の堀畑正純氏

研修会の日程・内容等は次のとおりです。

【研修会の内容及び講師】

熊本地震などを教訓とした大規模災害への備えについて

1. 東日本大震災を教訓とした農業農村整備の課題
2. 熊本地震などを教訓とした大規模災害への備え
3. 大規模災害への備え（技術者確保と支援体制の強化）
4. 大規模災害に備えた法制度の充実

一般財団法人 日本水土総合研究所
総括技術監 堀畑 正純 氏

土地改良区めぐり

加美郡西部土地改良区

シリーズ
38

土地改良区の概要

本地域は、宮城県北部大崎平野の西部に位置し、西に船形山と葉菜山がそびえており、東西14km、南北5kmのやや細長い地形で、一級河川鳴瀬川左岸と同支川田川沿岸に台丘状に展開された水田面積2,737ha余りの水田地帯になります。

本土地改良区は昭和44年に設立された土地改良区で、県営ほ場整備事業小野田・宮崎地区（Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期）1,958ha、平成6年より柳沢地区、宮崎北部地区、宮崎東部地区、平成14年には、門沢・小瀬地区、平成27年には、東鹿原地区のほ場整備を実施し、農業生産性向上と合理化を図ってきました。

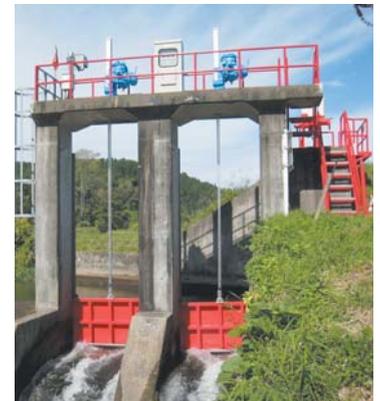
現在は、小野田東部地区、月崎・清水地区の2地区を令和4年採択に向け取り組んでおります。また、米価下落に伴い米から畑作物への転換期と考えており新規地区においては米に変わる作物の取組を昨年度より試験栽培の実証をしており、地域にあった作物と、共同作業について関係者とともに連携を図りながら進めております。

多面的機能支払交付金事業についても事業当初より全受益を対象に、23組織の取り組みにより賦課の軽減も図られております。

今後は、地域とともに老朽化が進んでいる施設の保守、更新を行いながらも昭和40年代から半世紀も経ったほ場整備区域について、認定農業者、法人への利用権設定（中間管理機構）により集約が進み、作業及び管理の効率化を図るために再整備等の事業実施が必要と考えているところであります。



県営ほ場整備事業 東鹿原地区



谷地森堰（適正化事業）

加美郡西部土地改良区の概要

所在地：加美郡加美町字原高谷地屋敷2

団体表彰：

昭和56年 全国土地改良事業団体連合会 銅賞

昭和60年 農林水産大臣表彰

昭和60年 全国土地改良事業団体連合会 銀賞

平成元年 全国土地改良事業団体連合会 金賞

受益面積：2,737 ha

組合員：1,340名 理事：8名 監事：3名

職員：6名



位置図

土地改良団体における女性参画推進について ～全国水土里ネットで検討業務がスタートしました～

第5次男女共同参画基本計画において、
女性理事の登用が**成果目標**となりました。

・令和2年12月25日閣議決定

土地改良長期計画においても
同主旨が規定されました

・令和3年3月23日閣議決定

令和2年12月25日に閣議決定された「第5次男女共同参画基本計画」に、土地改良区（連合含む）における女性理事の登用が、【成果目標】となりました。

また、令和3年3月23日に閣議決定された「土地改良長期計画」においても、同主旨が規定され、全国水土里ネットでは、地方連合会や土地改良区の方々をメンバーとした有識者委員会を立ち上げています。本会の伊藤恵子理事（美里町農業委員会会長）も有識者委員会のメンバーとして土地改良団体における女性参画推進について検討を進めています。

ひとくちメモ

☆女性理事が登用されていない組織数

【2016年度】3,737組織／3,900組織 ⇒ 【2025年度】10%

☆理事に占める女性の割合

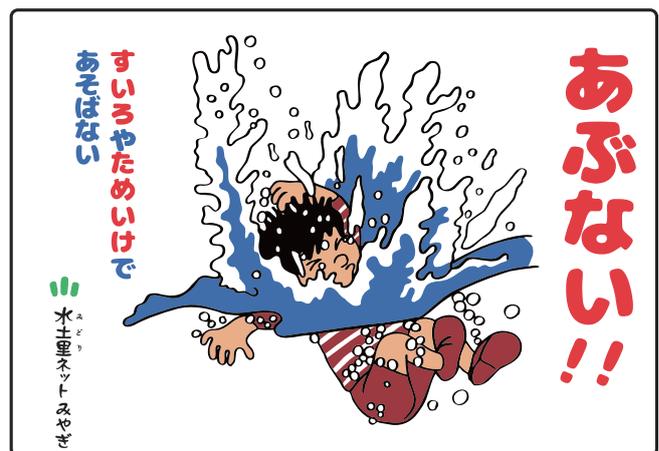
【2016年度】0.6% ⇒ 【2025年度】10%を目標

水難事故防止啓発用資料データの作成について

水土里ネットみやぎ会員支援班では、水難事故防止啓発用のポスター、クリアファイル、ステッカーの図案データを各2図案ずつ用意しています。記載する文字の変更、水土里ネットのロゴ等、各団体毎に作成対応していますので、データ作成をご希望される際は、希望する種類（ポスター、クリアファイル、ステッカー）、図柄、サイズをご指定ください。

なお、会員支援班で提供するものは、印刷用データのみとなりますので、印刷される場合は、印刷業者にご依頼をお願いいたします。

【ポスター作成例】



【クリアファイル作成例】



【ステッカー作成例】



お問い合わせ先

水土里ネットみやぎ 総務部 会員支援班

電話：022-263-5814、5829 / FAX：022-268-6390

メール：honbu@mlw.or.jp

ため池を管理されている方へ

宮城県

ため池サポートセンター

専門のスタッフが
ため池の管理・保全に関する
相談を承ります

令和3年

2月18日開設

ため池管理者の方の相談窓口

- 受付日時 **火・木**曜日 9:00~12:00/ 13:00~16:00
※祝日, 休日, 年末年始(12月29日~翌年1月3日)は除く
- 相談方法 電話または来所(来所の場合, 要予約)
- 連絡先 022-263-5814(総務部会員支援班内)
※管理者以外の方は, お住いの市町村へご相談願います

業務内容(相談以外)

- 専門技術者による助言
防災重点農業用ため池の適切な管理等のための助言を行います。
- 研修会の開催
ため池管理者の技術力向上に向けた研修会を開催します。



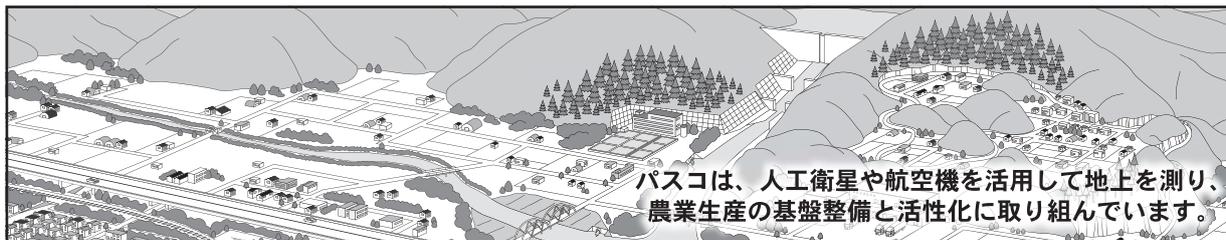
宮城県ため池サポートセンター

〒980-0011 仙台市青葉区上杉2丁目2番8号

TEL:022-263-5814 FAX:022-268-6390

設置者:宮城県

運営主体:宮城県土地改良事業団体連合会



パスコは、人工衛星や航空機を活用して地上を測り、
農業生産の基盤整備と活性化に取り組んでいます。

株式会社パスコ 仙台支店

〒983-0864 宮城県仙台市宮城野区名掛丁 205-1 www.pasco.co.jp

株式会社同和建材
 〒989-6124
 宮城県大崎市古川石森字天王山2-1
 電話 0229-24-2755
 メール dowa-2755@athena.ocn.ne.jp

☆ 農業土木資材販売
 ☆ 各種2次製品販売

**実り豊かな農業をめざし
 明日へ繋ぐ農地整備**



お陰様で弊社は創業75周年を迎えました。

今後とも地域の発展に寄与し、お客様に御満足頂けますよう、設計・施工・メンテナンスまで一貫した体制で、より一層の努力を重ねてまいります。



**水処理総合エンジニアリング
 萱場工業株式会社**

本 社：宮城県仙台市青葉区葉山町1番26号
 T E L：022-272-8686
 ホ ー ム ペ ー ジ：http://www.kayaba-ind.co.jp
 支店営業所：福島、郡山、青森、秋田、盛岡
 石巻、大崎



令和3年度 本会職員資格取得者

資格名	取得者数	資格名	取得者数
1級土木施工管理技士	1	会計指導員	4

◆◆本会会員代表者の就退任関係◆◆

【東部支部管内】

◇登米市東和町土地改良区

佐藤忠良 → 松野秀郎 就任【R4.3.11】

連合会日誌



	開催日時	主催者名	行事名	開催場所
1 月	4日	本会	令和4年仕事始め式	本会館
	7日	本会	令和3年度 宮城県土地改良事業団体連合会職員技術研修会	本会館
	13日	全国土地改良事業団体連合会	令和3年度 都道府県水土里ネット等事務責任者会議	オンライン
	14日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	令和3年度 東北・北海道ブロック会計指導員会議	オンライン
	18日～19日	本会北部支部	令和3年度 北部支部役員研修会	大崎市
	20日～21日	本会	土地改良区総務課長・事務局長会議	大崎市
	21日	宮城県ため池サポートセンター	令和3年度 宮城県農業用ため池管理技術研修会	大崎合同庁舎 (大崎市)
	24日	本会	令和3年度 農業水利施設機能保全計画書作成研修会(仙台会場)	本会館
	24日	宮城県	農業農村整備事業等に関する説明会・意見交換会(キャラバン)	オンライン
	26日	本会	令和3年度 農業水利施設機能保全計画書作成研修会(古川会場)	古川事業所
2 月	31日	本会	令和3年度 農業水利施設機能保全計画書作成研修会(石巻会場)	古川事業所
	2日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	令和3年度 技術主任者会議	オンライン
	8日	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和3年度 市町村担当者会議	本会館
	10日	全国土地改良事業団体連合会	令和3年度 全国水土里ネット女性の会総会及び研修会	オンライン
	14日	みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト事務局	第9回みやぎのふるさと農美里フォトコンテスト審査会	本会館
	16日	全国農業集落排水事業推進協議会	令和3年度 農業集落排水事業推進研修会	オンライン
3 月	18日	本会	令和3年度 交通安全講習会	本会館
	25日	全国土地改良事業団体連合会	令和3年度 事務責任者会議	都市会館 (東京都)
	4日	本会	令和3年度 第4回理事会	本会館
	4日	本会	令和3年度 第6回監事会	本会館
	7日	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	令和3年度 第2回事務責任者会議	本会館
	16日	本会	第63回通常総会	本会館
3 月	24日	全国土地改良事業団体連合会	第64回全国水土里ネット通常総会	全国都市会館 (東京都)
	24日	全国土地改良事業団体連合会	第63回全国水土里ネット表彰(書面)	—

今後の行事予定



4 月	1日	本会	令和4年度 年度始め式	本会館
	19日	全国土地改良事業団体連合会	都道府県水土里ネット事務責任者会議	シェーンバッハ・サポー(東京都)
	19日	全国土地改良事業団体連合会	都道府県水土里ネット会長会議	シェーンバッハ・サポー(東京都)
5 月	下旬	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和4年度 新担当者事業説明会	調整中
	下旬	宮城県多面的機能支払推進協議会	令和4年度 通常総会	調整中
	下旬	東北・北海道土地改良事業団体連合会連絡協議会	第62回通常総会	調整中
6 月	上旬	本会各支部	令和4年度 本会各支部通常総会	宮城県内
	中旬	全国土地改良事業団体連合会	令和4年度 農業農村の集い	調整中

◆◆◆◆◆ 人 事 異 動 ◆◆◆◆◆

【宮城県土地改良事業団体連合会】（令和4年4月1日付）

・調整役（事務局長）〔総務部長〕 畑 茂 吉

●総務部●

・部長〔換地部次長（総括）〕 澤 田 武 志

・次長（総括）〔総務部次長（調整・指導担当）兼企画広報班長〕 赤 間 俊 明

・総務班次長（班長）〔総務部総務班上席主幹（班長）〕 吉 田 真 信

・広報支援班上席主幹（班長）〔総務部主幹（会員支援班副班長）〕 高 橋 新

・主幹（嘱託）〔新規採用〕 戸 松 若 菜

●換地部●

・部長兼水土保全強化対策センター長〔技術部次長（総括）兼水土保全強化対策センター長〕 渡 辺 浩 一

・次長（換地担当）兼換地二班次長（班長）〔古川事業所換地・集積班上席主幹（班長）〕 芳 賀 智

・農地集積班次長（班長）〔換地部換地・集積一班上席主幹（班長）〕 千 葉 雄 二

・換地一班上席技術主幹（班長）〔換地部換地・集積二班上席技術主幹（班長）〕 熊 谷 良 実

・換地三班上席主幹（班長）〔古川事業所主幹（換地・集積班副班長）〕 鈴 木 克 己

・技術主幹（嘱託）〔新規採用〕 保 科 利 文

●技術部●

・次長（総括）（施設管理担当）兼一級建築士事務所長 佐々木 清 美

〔技術部次長（施設管理担当）兼一級建築士事務所長〕

・次長（技術調整担当）〔古川事業所次長（事業調整担当）〕 豊 島 一 茂

・農村整備二班専門技術主幹〔技術部技術主幹（農村整備二班副班長）〕 横 山 健 司

・技術主幹（嘱託）〔新規採用〕 佐 藤 幸

- ・技術主幹（嘱託）〔新規採用〕 二 瓶 和 彦
- ・技師〔新規採用〕 小 山 杏

●古川事業所●

- ・所長〔古川事業所次長（総括）〕 加 藤 正 司
- ・次長（総括）〔技術部次長（技術調整担当）〕 石 川 和 宏
- ・次長（事業調整担当）兼農村整備二班技術次長（班長） 千 葉 正 博
- 〔古川事業所農村整備二班技術次長（班長）〕

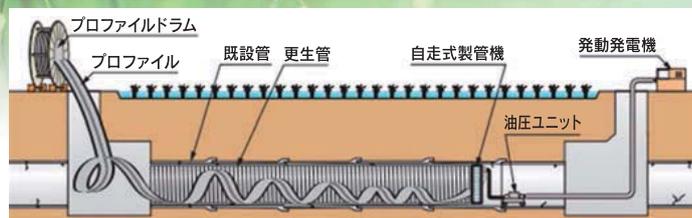
【宮城県土地改良事業団体連合会】（令和4年3月31日付）

- ・退職〔調整役（事務局長）〕 二 瓶 和 彦
- ・退職〔技監兼換地部長〕 佐 藤 幸
- ・退職〔古川事業所長〕 保 科 利 文
- ・退職〔総務部次長（総括）〕 戸 松 若 菜
- ・退職〔換地部主幹（嘱託）〕 田 畑 弘 江
- ・退職〔技術部技術主幹（嘱託）〕 千 田 宏
- ・退職〔古川事業所主幹（嘱託）〕 高 橋 邦 輔

農業用パイプライン更生工法

SPR-A工法

SPR-A工法の自走式



既設管: 800 ~ 5,000mm

円形、矩形、馬蹄型など

特長

作業に支障のない水量なら通水しながら施工可能
5,000mmの大口径にも対応

開口部(600mm程度)があれば、機材や資材の搬入が
可能なため、開削が不要

新管と同等以上の管路(強度・流量)に復元



日本SPR工法協会 東北支部 〒989-3124 仙台市青葉区上愛子字車39-3 TEL・FAX 022(392)5981

日本SPR工法協会 TEL 03(5209)0130(代) ホームページ <http://www.spr.gr.jp/> SPR工法



ウェブサイトは
こちら!

<http://www.mlw.or.jp>

過去の広報誌もご覧いただけます

- 発行 2022年4月1日
- 発行所 水土里ネットみやぎ (宮城県土地改良事業団体連合会)
〒980-0011 仙台市青葉区上杉二丁目2番8号
Tel 022-263-5811 (代表) / Fax 022-268-6390
- 印刷 株式会社 イシカワ印刷
〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代一丁目24-9
Tel 022-238-0999 / Fax 022-235-9035